

指定管理者による公の施設の管理運営状況（令和4年度分）

施設名	茨城県立青少年会館
施設所管課	福祉部子ども政策局青少年家庭課
指定管理者	ユース・アイマネージメントグループ (代表団体：(公社)茨城県青少年育成協会、構成団体：アメニティジャパン)
指定期間	H31.4.1~R6.3.31

1 施設の概要

施設所在地	水戸市緑町1-1-18
施設の概要	(1) 施設の目的：青少年、青少年関係者及びこれらの団体の福祉を増進する目的をもって、その利用に供する。 (2) 主な業務：会館の貸館業務（研修室、ユースホステル）、施設維持管理に関する業務等 (3) 主要施設：研修室、宿泊室、事務所その他 (4) 敷地面積：約4,263.20㎡
業務内容	(1) 会館の利用日及び利用時間の臨時の変更に関する業務 (2) 研修室等の利用の承認に関する業務 (3) 研修室等の利用の承認の取消し等に関する業務 (4) 会館の維持管理に関する業務 (5) 健やかな青少年の育成に必要な事業の実施に関する業務 (6) 知事が会館の管理上必要と認める業務

2 職員の状況

常勤職員：2人	非常勤職員：5人	臨時職員：1人	合計：8人
---------	----------	---------	-------

3 収支状況

令和4年度 (単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料	26,610,000	人件費（給与等）	16,388,667
利用料収入	10,027,470	光熱水費	4,380,085
電気料金高騰に係る光熱水費増加費用	1,338,933	租税公課等	1,172,700
その他（他会計振替収入）	1,233,587	自主事業費	385,537
		その他（事務費・修繕費等）	16,883,001
収入合計	39,209,990	支出合計	39,209,990

4 利用状況

	令和4年度実績	令和3年度実績	令和2年度実績
① 年間利用日数 (日)	(研修室) 359	(研修室) 308	(研修室) 313
	(宿泊室) 300	(宿泊室) 263	(宿泊室) 279
② 年間利用者数 (人)	(研修室) 43,392	(研修室) 29,613	(研修室) 15,237
	(宿泊室) 1,559	(宿泊室) 734	(宿泊室) 626
③利用料収入(円) (指定管理者収受額)	10,027,470	6,585,410	5,552,170

5 サービス向上に向けた取組み

- ・ 駐車場の禁止エリアの明示と駐車禁止棒の設置 ※ 事故防止
- ・ バリアフリートイレの修繕(一部) ※施設利用の利便性の向上
- ・ 正門サブ門扉戸車の修繕 ※施設利用の利便性の向上
- ・ 季節感を感じさせる草花の植栽 (プランター)

6 利用者満足度調査の結果及び対応状況

○実施方法

研修室と宿泊室利用者に、「アンケート用紙」を配付

○調査結果

①職員・スタッフの応対

大いに満足 77.1%、満足 15.4%、ふつう 7.5%、不満 0.0%、大いに不満 0.0%

②施設の清潔さ

大いに満足 76.8%、満足 15.9%、ふつう 7.3%、不満 0.0%、大いに不満 0.0%

③施設全体

大いに満足 77.2%、満足 14.9%、ふつう 7.9%、不満 0.0%、大いに不満 0.0%

○利用者からの意見等

【良い点】

ア ありがとうございます。とてもきれいで使いやすかったです。

イ いつも気持ちよく使わせていただいています。また、次回もよろしくお願いします。

ウ いつも掃除が行き届いていて気持ち良く使わせていただいています。

エ 事前の清掃、除菌ありがとうございます。

オ 白いイスがとてもありがたかったです (和室利用で足が不自由な方に貸し出す)。

カ 口コミで、構えていましたが、至って快適でした。

【悪い点】

ア マイクの音量・音質の調整がうまくできなかった。

【要望】

イ Wi-Fi 設備よろしくお願いします。

ウ 駐車場の出入り口 (第二) や収容台数アップなど全体的な見直しが必要かと。

エ プロジェクターでHDMI1が使えるとよかった。

オ お風呂の時間が17:00~だとありがたい。

○対応状況

ア 大研修室の利用者からで、次回は事前に事務室に連絡をくださるようお願いをした。

イ 県に検討をお願いしている。

ウ 敷地には80台駐車可。歴史館には、事前に、大研修室借用団体のために、30台分の駐車余地を申請しており、現状の対応について利用者に丁寧に説明している。

エ プロジェクターは無料で貸し出している。接続部分の器具については、使用団体に準備を依頼している。必要に応じ、事前の確認をお願いしている。

オ 燃料費の高騰等、費用対効果の観点から現状の18:00~22:00を維持したい

7 管理運営状況の評価

評価項目	事業計画 (管理指標)	実績 (管理指標に対するコメント)	自己 評価	所管課 評価
維持管理	設備保守点検は、事業計画等に照らし適切か。	計画に基づき、保守点検業者に委託し、適切に管理	A	A
	整理整頓・清掃が行き届いているか。 (建物・植栽等)	清掃業者や園芸業者に委託し、適切に実施	A	A
	破損箇所の修繕は適切か。	県と協議し、指定管理者で対応すべきは適切に修繕	A	A
施設運営	使用日数、使用時間等は守られているか。	鍵の貸出し管理等により、適切に管理	A	A
	予約・利用許可等、利用者への対応は平等・公正に行われているか。	利用者事前登録等に基づき、平等、公正に対応	A	A
	創意工夫により、魅力ある自主事業の実施等、施設の利用拡大やサービスの向上が図られているか。	旅行サイトの利用などを導入し、利便性に考慮し、サービス向上に努めている	A	A
	利用者の要望を把握し、運営に反映させ、満足度を高めているか。	アンケート情報の共有化を図り、満足度向上に努めている	A	A
運営体制	職員は適切に配置されているか。	県と協議し、適切な配置に配慮	A	A
	要望、苦情等への対応は迅速かつ適切か。県へ報告しているか。	迅速・適切に対応。県への報告は定期的に実施	A	A
	事故・災害等、緊急時に備えた体制は確保されているか。	消防計画の策定、避難訓練の実施等を通し、体制を確保	A	A
	県、その他関係機関との連携は取れているか。	県とは定期的な打ち合わせを行うとともに、関係機関との情報共有化に努めている	A	A
利用状況	利用者数の状況は、計画を達成できているか。	コロナ禍のため、収容人数に制限を設定	C	C
	施設の稼働率は、事業計画に照らして適当な水準にあるか。	研修室はコロナ禍前の水準に戻りつつある状況	C	C
収支状況	収支計画が適正に執行されているか。	収支計画に対しては、毎月検証し、適正に執行	A	A
	経費削減に向けた取組みがされているか。	全職員があらゆる分野において、経費節約・削減を徹底	A	A

【総合評価】・・・各評価項目及び施設の性格・特殊性を考慮した総合的な評価

コロナ禍の状況を踏まえながらも、事業計画の達成に向けて、サービス向上に努めるとともに、経費削減をあらゆる分野で徹底し、収支計画の適正な執行を行っている。また、施設の維持管理についても、県と協議しながら、修繕計画に基づき、的確に対処し、利便性を高め、円滑な施設運営に努めている。

以上、総合的に評価すると、管理運営状況はおおむね良好といえる。

- ※ ・実績（管理指標に対するコメント）欄については、指定管理者が記入する。
 ・総合評価欄については、所管課が記入する。
 ・自己評価、所管課評価欄について

評価	評価基準
A	事業計画を上回る成果があったもの
B	事業計画どおりの成果があったもの
C	事業計画を下回っており、改善努力が必要なもの